

## 第87回読売新人演奏会(5月5日)にて、古谷さん、長野さんが好演！

1930年（昭和5年）に始まり、新人の登竜門として数多くの演奏家を送り出してきた第87回読売新聞社主催の新人演奏会が、上野の東京文化会館大ホールで開催され、宇都宮短期大学音楽科を今年3月に卒業されたサクスの古谷真唯さん、ピアノの長野美帆子さんが、見事な演奏を披露しました。

全国の各音楽大学から選ばれた首席級の卒業生による質の高いプログラム、聴き応えのある演奏が居並び中、古谷さんはイベール作曲〈コンチェルティーノ・カメラータ〉を、長野さんはショパン作曲ピアノソナタ第3番を演奏しました。イベールは細部まで考えた堅実かつノリの良い、またショパンは安定かつ丁寧な歌いのなかに美しさを湛える演奏で、2300席の大ホールに沁み入りました。

当日は本学や附属高校からの後輩、ご指導いただいた先生方も多勢応援に駆けつけ、終演後はあたたかい同窓の輪が広がりました。

お二人の、今後のさらなるご活躍を期待しています。

